

# 【リニューアルコース】 技能・技術実践研修カリキュラム

※記載内容は変更となる場合があります

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
C1-1	【通信活用研修】国際大会で勝つための「実力発揮メソッド」応用	【集合研修日】令和8年7月9日(木)	10 (2職種限定)	2 (集合1)
開催会場	オンライン(各施設)	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	L3	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	<p>基礎編で学んだ2つの分析方法を訓練で実際に実行し(事前課題)、そこで蓄積したデータをもとに、選手一人ひとりのクセやメンタル面での課題、その解決方法についてフィードバックします。コンダクト・スキルをワンランク上に発展させます。なお1回あたり2職種に限定して行います。この研修は6時間相当の事前課題を行っていただき、当日のオンライン研修は6時間となります。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能五輪全国大会に向けて選手のメンタル面を考慮した指導ができる</li> </ul>			
最低限必要な知識	「実力発揮メソッド<基礎編>」を受講済みの方。選手と指導者のセットでの受講が必要です。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	<p>【通信活用研修】</p> <p>本研修は通信活用研修となっており、概ね集合研修の1か月前に基礎的な事前課題が提示され、集合研修時に解説等でフィードバックされます。</p> <p>事前課題1 ABC分析を2つ実施                      (1) &lt;基礎編&gt;にて解説した感情のABC分析を2つ実施(10日×2)                      (2) 10日分の内容を分析して考察を記述</p> <p>事前課題2 過去の大会に関する調査                      (1) 過去の国際大会出場選手、指導者にヒアリングシートに記入                      その他、事前課題にて指示します。</p>			(6) H
	<p>1 ABC分析のフィードバック                      (1) 感情パターンの分析                      (2) ネガティブイベントと思考パターンの分析                      (3) 事例紹介</p>		1 H	2 H
	<p>2 本番を想定した対策、訓練計画の作成                      (1) 高リスク状況でのコーピング                      (2) C-2~C4までのシミュレーション                      (3) 事例紹介</p>		1 H	2 H
			2 H	10 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	職種数(2職種)を限定した研修ですので、感情のコントロール等の内容について専門家から直接フィードバックを受けることができます。独習ではわからないことや気づかないことについて質問もでき、より習熟度が深まります。			
研修成果が活用できる職務	職務1	職務2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	菊池 拓男、外部講師(羽田野健 臨床心理士) (情報通信ユニット)			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト(予定)				